明日を担う若い世代の声　しもすわ未来議会

議席２番　甲斐 麻衣子 議員　～赤砂崎公園化に伴う町の活性化～

甲斐議員　赤砂崎の公園化について、湖畔には憩いの場所が少ないなか赤砂崎の公園化は大変うれしい。しかし、観光客向けの施設がないことを取り上げ、町の活性化と防災公園としての関心度も高いことから、憩いの場所として温泉を活用した親水場の設置とオートキャンプ場の設置を提案。財源の問題もあるが、町の活性化策として町の意向について質問した。

町長　赤砂崎に興味を持っていただいてうれしく思う。赤砂崎の計画の概要について説明し、より安心安全なまちづくりには防災公園避難地の重要性を述べるとともに、自然環境を活かした多目的な場所としての位置づけを述べ、多くの方の意見を聞く中で検討し反映させていきたいと答弁した。

甲斐 麻衣子 議員

議席３番　小林 拓海 議員　～温泉施設の充実について～

小林 拓海 議員

小林議員　下諏訪町の特徴である温泉を活かした事業展開について、集客面から温泉施設と宿泊施設の複合施設の建設について質問した。

町長　町の豊富な温泉を活用しながら活性化を図っていくことはとても大切なこと。また、温泉施設が注目を浴び、利用者も多いことは承知している。しかし、町らしい情緒ある銭湯を楽しんでもらうことも必要で、そんなまちづくりを進め、観光客と地域の皆さんが触れあう環境づくりをして、魅力的な町にしたいと答弁した。

議席４番　宮下 太希 議員　～高齢者の住みやすい町について～

宮下議員　高齢社会の環境整備について、町の高齢化率など具体的な数値を示しながら高齢者の皆さんがより良く過ごせるため、歩道橋のバリアフリー化、スロープの設置と交通量の激しい国道の信号機、信号時間の曖昧さなどを指摘する中、その改善を要望した。

町長　町の高齢化率の注目に感謝するとともに、高齢者に住みやすい環境づくりは行政の使命だと述べた。ＪＲ下諏訪駅のエレベーター設置などを説明し、歩道橋は現状の改良は難しいものの道路危険箇所の道路標示改良への努力と信号設置の影響を説明する中で、警察・地域と協力し痛ましい事故を起こさないように努めると答弁した。

宮下 太希 議員

議席５番　名取 竜兵 議員　～ジョギングロードの整備について～

名取 竜兵 議員

名取議員　災害の防止と災害時の対応について、町の自然災害に対して町民意識や関心を高めるための具体的な対策について質問しました。

町長　18年の災害の教訓から、自助・共助・公助の認識と地域防災力の強化の必要性について具体的に説明。「議員の意見に心強く思う。災害に対する準備と意識の再確認の必要性を改めて痛感する。また情報元となる防災行政無線の聞きづらい地域へ機器の無料設置は難しいが、防災ラジオ(町補助有)を活用してほしい。」と答弁しました。

議席６番　黒田 真衣 議員　～観光産業の活性化について～

黒田議員　（町に三つの提案をした）一つは、町内観光地を巡るバスの運行について工夫を。町内には万治の石仏など注目される名所等が幾つもあり、無理なく回れ気軽に観光客が訪れてくれるのではないか。

町長　三角八丁などのイベントを説明し、まちづくりの観光にはゆっくりまちを見てもらう「まち歩き」が必要であると述べた。

黒田議員　最近話題のＢ１グランプリへ「ウナギの太巻き」で参加してはと提案。観光客の増と食の町のアピールで町の活性化を。

町長　いい観光地には名物がある。食は非常に大切で、三角八丁の例をあげ、新しい食品開発が出来るよう町民の皆さんに提案いただくよう呼びかけた。

黒田議員　（最後に）駅前の活性化として、商店街や駐車場に出張店舗の出店を提案した。

町長　現在検討しているレンタル屋台事業について説明するとともに、足湯の設置などこれからの考えについて答弁をした。

黒田 真衣 議員

議席７番　菊嶋 勇樹 議員　～観光客にもやさしいまちづくりについて～

菊嶋 勇樹 議員

菊嶋議員　観光地看板の設置、見所や歴史を紹介するボード・映画マップの設置などについて提案した。

町長　現在の観光案内看板の設置状況と外国の方への対応課題などを説明。また旅館の皆さんの風情ある行灯（あんどん）への取り組みを紹介し、現在研究しているカリンイルミネーションについて説明。駐車場看板は、車からも分かりやすい表示、位置など研究、検討する必要があると答弁した。

議席８番　安藤 奨平 議員　～「科学に触れあう場の提供」と「地域産業の振興」について～

安藤議員　（始めに）議員は生徒自治会を代表して本校創立30周年記念式のお礼を述べた。（議員は）子どもの理科離れにふれ、長野市少年科学センターの実例を紹介し、文化センターや儀象堂を活用し、技術者ＯＢの方にも協力いただき、体験教室開催など「ものづくりの町」としてその対策について質問した。

教育長　諏訪はものづくりの拠点として、大変重要な地域であると述べ、小中学校の取り組みや講座等について現状を説明した。

町長　ロボバトルや修学旅行での体験学習、御田町の匠のまちづくり活動について説明、ものづくりをアピールしながらまちづくりを進めたいと答えた。

安藤 奨平 議員

議席９番　小松 瑞季 議員　～御田町や駅前等のシャッター通りの対策や対応について～

小松 瑞季 議員

小松議員　御田町や駅前のシャッター通りを見ると寂しい。この現状の改善策を問うとともに、（議員の具体案として）飲食店で町の特産品を使うことや観光案内所の充実などを提案。

町長　この問題は全国的にも課題となっている。何とかしたい気持ちでいっぱい。行政で支援できることは限られているが、観光客にまち歩きをしてもらい滞在時間を長くし、それが消費につながる仕組みが必要で、大社通りの食祭館やまちなか案内人など色んなものを合わせたその波及効果に期待している。町は観光振興計画を策定した。町を訪れる人を町民全体で温かく迎える、それがこの計画の柱となっている。みんなで協力して町の活性化を図りたいと述べた。

閉会後町長と感激の握手

若い力に胸ふくらむ

議員の皆さん本当にありがとうございました。今日の日を楽しみにしていました。期待を裏切らない、素晴らしい質問をぶつけてくれました。今の町の課題について適切な意見をいただいたと思っています。中には既に取り組んでいるものもあります。そして要望に添えないものもありますが、皆さんの意見を何とか行政に反映していきたいと思います。

それには町、行政だけでは難しい時代でもあります。行政も住民の皆さんもそして学生さんも一緒になって素晴らしい町にしたいと思います。町には宝物、魅力がいっぱいあります。今日の気持ちを忘れず、いつかこの町の力となってまちづくりに協力してくれるそんな人間に成長してくれることを願っています。これからも頑張ってください。

（町長の講評）